

メディカルタイムアウトについて

熱中症予防の観点から、夏季の県 U12 部会主催の大会で「メディカルタイムアウト」を必要に応じて導入します。選手や TO、審判、各チームの指導者においてはこの特別ルールの趣旨を理解して大会内で下記ルールを適切に運用されるよう協力をお願いします。また、各大会において「メディカルタイムアウト」を適用するかどうかについては、大会主催者並びに役員にて判断、決定をお願いします。

【メディカルタイムアウトとは】

- ・試合の途中で30秒間のタイムアウトをとり、選手、及び審判が「汗を拭く」「水分補給を行う」ものです。
- ・通常のチャージドタイムアウトとは異なるものですので、コーチが作戦を指示することはできません。

【メディカルタイムアウトのルール】

- ・全てのクォーターで3分（3分ちょうど含む）が経過し、ボールがデッド（通常のチャージドタイムアウトが取れるタイミングと同じ）になったら自動的に30秒間のメディカルタイムアウトとなります。
- ・どちらのチームのタイムアウトにも数えません。
- ・オーバータイム（延長）ではメディカルタイムアウトはとりません。

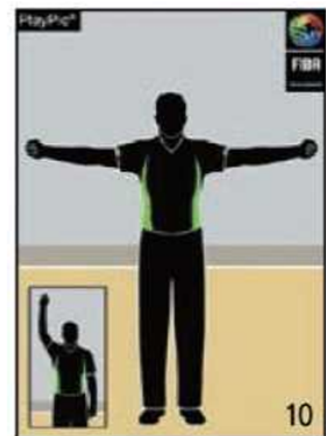
【TO（テーブルオフィシャルズ）へお願い】

- ・スコアラールとタイマーが協力して、メディカルタイムアウトの時機が来たらブザーを鳴らして右図の「メディカルアウト合図」を行ない宣することで審判と選手に知らせてください。

（TO が忘れていた場合も考えられますのでその際は審判が宣するよう協力をお願いします）

- ・ストップウォッチにて30秒計り、再開のブザーを鳴らしてください。
- ・スコアシートにメディカルタイムアウトを記載する必要はありません。
- ・TO クルーも汗を拭いたり、水分補給を行うようお願いします。
- ・メディカルタイムアウトのとりやすれに気づいた場合、次のタイミングでメディカルタイムアウトをとってください。

メディカルタイムアウト
合図



握りこぶしで腕を広げる

【チーム、選手へお願い】

- ・選手はベンチに戻り、汗を拭いたり、水分補給を行なってください。
- ・30秒後に速やかに試合が再開できるよう、チーム、選手は協力をお願いします。
- ・通常のチャージドタイムアウトとは異なるものですので、コーチが作戦を指示することはできません。
- ・ベンチの隅（エンドライン側）で水分補給をするなど指示を出さない工夫をお願いします。

・通常のチャージドタイムアウトを請求しメディカルタイムアウトの時機と重なってしまった場合、メディカルタイムアウトを優先し、メディカルタイムアウト後（30秒経過後）に通常のチャージドタイムアウト（45秒）を採用します。審判はメディカルタイムアウト後にチャージドタイムアウトを宣するようお願いいたします。

・メディカルタイムアウト後に続けてチャージドタイムアウトをとることは可能です。その際はメディアタイムアウト中に TO に申請をお願いいたします。審判はメディカルタイムアウト後にチャージドタイムアウトを宣するようお願いいたします。

・第4Q メディカルタイムアウト中の選手交代は可能です。通常時の選手交代と同じ処置をお願いいたします。

【審判へお願い】

・審判も汗を拭いたり、水分補給を行い熱中症予防に努めてください。

・試合開始前に TO とメディカルタイムアウトの運用について確認をお願いいたします。

・メディカルタイムアウトを TO が知らせたら、審判も「メディカルタイムアウトの合図」を行なって選手、チームに伝えてください。

・メディカルタイムアウトは TO が知らせますが、TO が忘れていた場合は審判が宣する等協力をお願いいたします。

・メディアタイムアウトのとりわすれに気づいた場合、次のタイミングでメディカルタイムアウトをとってください。